

SAFETYDATASHEET(製品安全データシート)

1.製品及び会社情報

【製品名】 Cite クリアグルー

【会社名】 株式会社ケイトオブ東京

【住所】 東京都渋谷区神宮前 6-19-20 第 15 新井ビル 7 階

【電話番号】 03-6427-7797

【担当部署】 商品部管理課

【使用上の制限】 推奨用途以外に使用される場合には、事前に安全性をご確認ください。

本製品が体内に留意する恐れのあるような用途には使用しないでください。

2.危険有害性の要約

【GHS 分類】

物理的危険性

爆発物	: 分類対象外
可燃性又は引火性ガス	: 分類対象外
エアゾール	: 分類対象外
支燃性又は酸化性ガス	: 分類対象外
高压ガス	: 分類対象外
引火性液体	: 区分 3
可燃性固体	: 分類対象外
自己反応性化学品	: 分類できない
自然発火性液体	: 区分外
自己発熱性化学品	: 分類できない
水反応可燃性化学品	: 分類対象外
酸化性液体	: 分類対象外
酸化性固体	: 分類対象外
金属腐食性物質	: 分類できない

健康有害性

急性毒性（経口）：区分外
急性毒性（経皮）：分類できない
急性毒性（吸入：気体）：区分に該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）：区分に該当しない
急性毒性（吸入：粉じん：ミスト）：区分に該当しない

皮膚腐食性又は皮膚刺激性：区分に該当しない

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：区分 2 B

呼吸器感作性：分類できない
皮膚感作性：分類できない
生殖細胞変異原性：分類できない
発がん性：分類できない
生殖毒性：区分 1A

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 3(気道刺激、麻酔性)

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分 1(肝臓)、区分 2(神経)

吸引性呼吸器有害性：区分に該当しない

環境有害性

水性環境有害性（急性）：区分に該当しない
水性環境有害性（長期間）：区分に該当しない
オゾン層への有害性：分類できない

【GHS ラベル要素】

絵表示



注意喚起語	：危険
危険有害性情報	：引火性の高い液体及び蒸気 眼刺激
注意書き	：生殖能又は胎児への悪影響のおそれ 呼吸器への刺激のおそれ、 眠気又はめまいのおそれ 長期又は反復ばく露による肝臓の障害、神経障害のおそれ すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 換気の良い区域でのみ使用すること。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 保護眼鏡/保護面/保護手袋/呼吸器用保護具を着用すること。 一定の場所を定め、容器を密閉して、涼しいところ/換気の良い場所で施錠して保管すること。 環境への放出を避けること。

3.組成、成分情報

学物質・混合物の区別	：混合物
全成分	：水、エタノール、アクリル酸アルキルコポリマーAMP、グリセリン、粘着剤、増粘剤

4.応急処置

吸引した場合	：呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	：多量の水と石鹸で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	：直ちに水で数分間注意深く洗うこと。 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外し、その後も洗

	浄を続けること。
	眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	：直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
予想される急性症状及び遅発性症状	：眼の発赤、痛み、灼熱感、皮膚の乾燥、吸入による咳、頭痛、疲労感、し眠及び、 飲み込みによる灼熱感、頭痛、錯乱、めまい、記憶喪失など。
最も重要な徴候及び症状	
応急処置をする者の保護	：火気に注意する。

5.火災時の措置

適した消火剤	：粉末消火剤、耐アルコール性泡消火薬剤、二酸化炭素、霧状水
消化を行う者の保護	：消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
特有の危険有害性	：極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。 加熱により容器が爆発するおそれがある。
可燃性液体特有の消化方法	：火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。 消火作業は、可能な限り風上から行う。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項	：多量の場合、人を安全に待避させる。
環境に対する注意事項	：河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
除去方法	：少量の場合、吸着剤(おがくず、土、砂、ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよくふき取る。多量の場合、土砂等(の不燃物)で囲って流出を防止し、スコップなどで空容器に回収する。
二次災害の防止策	：すべての発火源を速やかに取り除く。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所の流入を防ぐ。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱

- 技術的対策 : 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 注意事項 : 臭気が滞留しないように局所排気装置の設置、全体換気を適正に行う。
- 安全取扱注意事項 : 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

- 適切な保管条件 : 保管は消防上の貯蔵設備で行い、必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
熱、火花、裸果火のような着火源から離して保管すること。
冷所、換気の良い場所で貯蔵すること。
酸化剤から離して保管する。
容器は直射日光や火気を避けること。
容器を密閉して保管すること。

- 安全な容器包装材料 : 「10. 安定性及び反応性」を参照。
消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8.暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 防爆の電気、換気 照明機器を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- 管理濃度 : 設定されていない（エタノール）
- 許容濃度 : 設定されていない（エタノール）

保護具

- 呼吸の保護具 : 適切な呼吸器保護具を着用すること。
- 手の保護具 : 適切な手袋を着用すること。
- 眼の保護具 : 適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 : 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
: 実験用エプロン、液体飛沫から眼、顔及び肌を保護する。
体を覆う衣服以外に予防措置は必要ない。

9.物理的及び化学的性質

物理的状态
形状 : 液体
色 : 黄色透明
臭い : 特異臭
p H : 5~8(10%水溶液)
融点 : データなし
沸点 : 78°C(エタノール)
引火点 : 31°C (セタ密閉式測定器)
発火点 : 363°C (エタノール)
蒸気圧 : 5,866Pa(20°C) (エタノール)
比重 : データなし
密度 : 1.04 (20°C)
蒸発速度 : データなし
溶解度 : 溶解
n-オクタノール／水分配係数 : データなし
分解温度 : データなし

10.安定性及び反応性

反応性、化学的安定性 : 常温常圧で安定。
危険有害反応可能性 : 空気中で爆発性過酸化物を生成する事がある。
次亜塩素酸カルシウム、酸化銀、アンモニアと徐々に反応し、火災や爆発の危険をもたらす。
硝酸、硝酸銀、硫酸第二水銀、過塩素酸マグネシウムなどの酸化剤と激しく反応し、火災と爆発の危険をもたらす。
避けるべき条件 : 高温への暴露
危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素

11.有害性情報

急性毒性（経口）	：ラット LD50 2,000mg/kg 以上（同等製品）
急性毒性（経皮）	：情報なし(エタノール)
急性毒性（吸入：蒸気）	：ラット LC80 20,000ppm/10h (31,600 ppm/4h)
皮膚腐食性／刺激性	：ラビット not irritating (OECD TG404 試験) (エタノール)
眼に対する重篤な損傷／刺激性	：ラビット moderate(OECD TG404 試験) ラビット moderately (ドレイズ法) ヒトで角膜上皮の障害、結膜充血は 1、2 日間で回復する。 眼刺激(区分 2B)(エタノール)
皮膚感作性	：動物試験で有意の皮膚感作性は見られない。（エタノール）
生殖細胞変異原性	：in vivo、in vitro の陰性結果あるいは陰性評価がされており、分類ガイダンスの改訂により「区分外」が選択できないため、「分類できない」とした。（エタノール）
発がん性	：エタノールは ACGIH で A3 に分類されているが、飲料として摂取した場合を想定しており、化粧品等の製品原料として使用する際の有害性判断には不適であり、「分類できない」とした。
生殖毒性	：アルコールの習慣的な大量摂取によりヒト胎児に対する奇形その他の悪影響が多数報告されている。（エタノール）
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	：ヒトで経口摂取により中枢神経系に急性中毒作用を及ぼし、死に至ることがある。（エタノール） ヒトで 5,000 ppm (9.4mg/L) の吸入により気道刺激性、昏迷、病的睡眠を起こす。（エタノール） 呼吸器への刺激のおそれ（区分 3） 眠気又はめまいのおそれ（区分 3）
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	：「ヒトでアルコールの長期大量摂取によりほとんど全ての器官に障害を起こすが、最も悪影響を与える標的臓器は肝臓である。障害は脂肪変性に始まり、壊死と線維化を経て肝硬変に至る」の記載に基づき区分 1(肝臓)とした。また、「アルコール中毒患者の禁断症状（振戦症状、てんかん、精神錯乱）」の記載に基づき区分 2(神経)とした。（エタノール）
吸引性呼吸器有害性	：情報なし

12.環境影響情報

水性環境有害性（急性）	： 甲殻類(オオミジンコ) の 48 時間 LC50%3D 5,463.9mg/L から、区分に該当しないとした。(エタノール)
水性環境有害性（慢性）	： 難水溶性でなく（水溶解度 = 1.00×106 mg/L）、急性毒性が低いことから、区分に該当しないとした。(エタノール)
生体蓄積性	： 情報なし
土壌中の移動性	： 情報なし
オゾン層への有害性	： 情報なし

13.廃棄上の注意

焼却炉で少量ずつ焼却処理するか、 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
焼却に際しては引火性物質（エタノール）を含むので注意して行う。 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14.輸送上の注意

陸上輸送	： 消防法、労働安全衛生法に定められている運送方法に従う。
海上輸送	： 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	： 航空法に定められている運送方法に従う。
国連分類	： 3
国連番号	： 1866
I M O	： 該当しない
I A T A	： 該当しない

15.適用法令

消防法	： 危険物第 4 類引火性液体第 2 石油類水溶性液体
労働安全衛生法	： 第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9 名称等を通知すべき 有害物 エタノール含有 施行令別表 1 危険物 4 引火性の物 3
化学物質管理促進法	： 該当しない

毒劇法 : 該当しない

16.その他の情報

: 上記の記載内容は、現時点で当社が保有している情報に基づき、本製品の安全な取扱いについての参考資料として作成されたもので、製品の品質および安全性を保証するものではありません。危険・有害性の評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。尚、この情報は新しい知見に基づき改訂する事があります。